

# NIEノートから見える世界・学ぶ世界

西宮市立平木中学校 校長 鍛示 英子  
教諭 渋谷 仁崇

## ○実践の概要と内容

### 1. 「NIEノート」

本校では、生徒たち一人一人が「NIEノート」を作成している。その中で社会全体や世界の動きを通し、社会科への関心・興味を高める狙いがある。

NIEノートは、授業がある前日に、各自が新聞記事の中で、興味を持ったものをスクラップし、重要な個所に線を引いてノートに貼り、感想を書く。

また、社会科授業で、各自の記事の内容と感想を発表し、意見交流している。

また、廊下などに新聞記事を掲示している。他にも、朝読書の時間に「朝NIE」として、共通の新聞記事を配布し、文章の読み取りと、その記事への感想を書かせている。

平成26年度の第2学年の生徒では、1800記事以上(18冊以上)集める生徒もいた。全体の平均は112記事。



## ○生徒配布用プリント

### ★NIE (Newspaper in Education)

【毎授業 最初7分程度】

最近の新聞から、記事を切り取り、ノートに貼り、自分なりにまとめたものを発表。

(発表できないもの＝スポーツ結果(毎日あるもの)、天気予報など)

→定期テストに時事問題として出題。

新聞をとっていない人は、テレビのニュースを聞いたり、インターネットなどプリントアウトしたりするのも可能。

### ★NIEノート

(授業中に回収します。欠席者以外遅れての提出は認めません。)

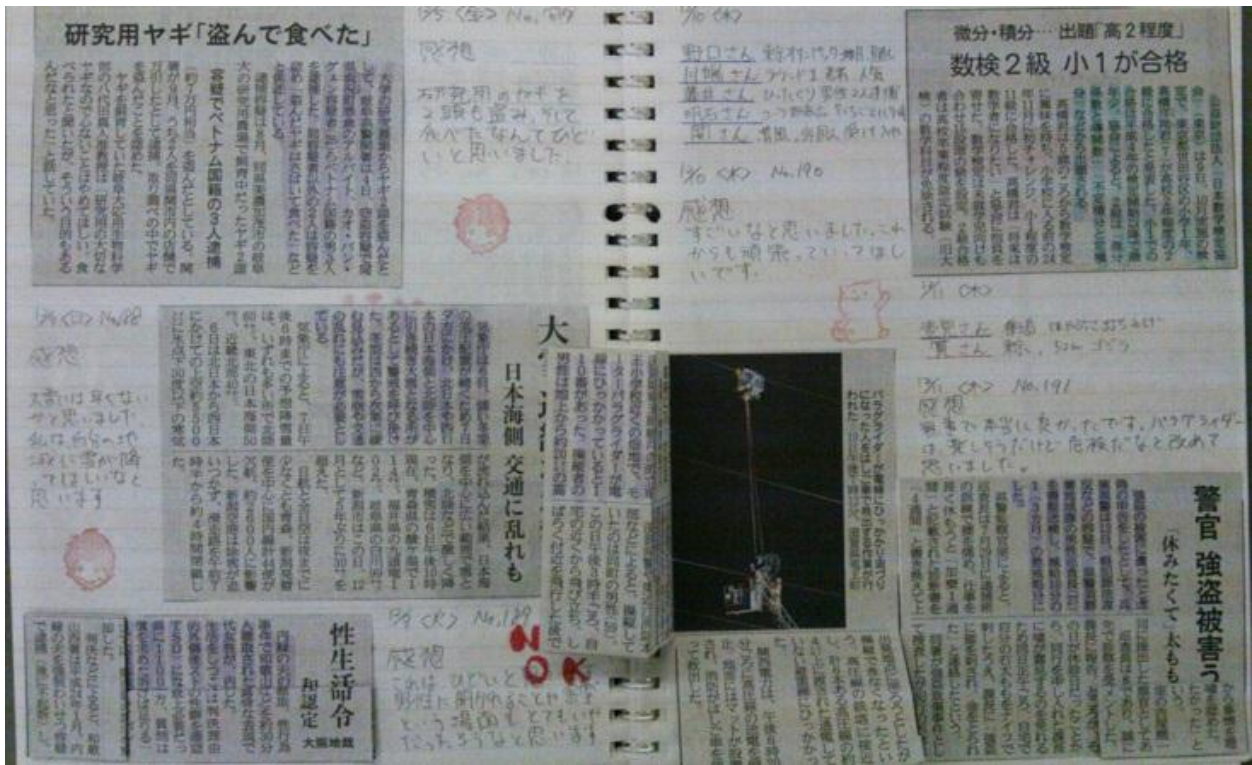
視点1、どれぐらいの頻度で記事をまとめているか。授業数が基準。

2、新聞を、きれいに切り取り、張ること。

3、「日付」、記事の「まとめ」、自分の「感想(15文字以上)」をしっかりと書いているかどうか。

1と2と3ができていれば「A」

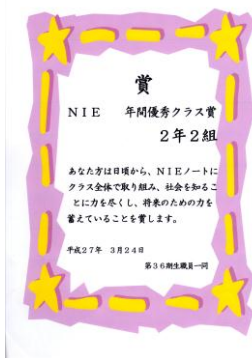




「NIE発表について」の狙い  
「ことばの力を伸ばす」

- 「分かりやすくまとめる」  
「大きな声」  
「感想」をテーマに発表させる。
- ・正しい日本語を読む力。
- ・記事の内容を理解し、まとめる力。
- ・自分の感想を表現する力。
- 全てではなくていいので、記事の要点を絞り、メモを取る。
- ・記事への興味・関心を持たせる。
- ・聞く力 ・まとめる力 ・書く力

★クラス賞 (NIEの取り組みを評価)



2. NIEコーナー

(新聞の置き場・整理)



気になったニュースを、テーマ別を集めて、いつでも読めるようにしている。社会科係が掲示用記事を作成。

### 3. NIE川柳



NIEノートから、1年間で自分の気になるニュースを選び、5・7・5の川柳にした。

テーマは、政治・経済・国際・スポーツなど。授業の中で、作品の発表交流会を行い、各クラスの優秀作品を投票で選んだ。

生徒作品（冬季課題）

白鷺城  
大修理後は  
「白すぎ城」

結弦くん  
金メダルは  
ゆずれない

青信号  
知らなかったが  
ノーベル賞

赤サンゴ  
尖閣諸島も  
とっちヤイナ

### 4. 「いっしょに読もう！」

#### 新聞コンクール」

#### 学校奨励賞 受賞

日本新聞協会が主催する「第5回いっしょに読もう！新聞コンクール」に取り組んだ。夏休みの課題として、家族や友達と記事を読み、感想や意見を全校生で応募した結果、学校奨励賞を受賞した。



### 5. 新聞記者派遣

NIE推進事業の一つである新聞記者派遣を行った。日本経済新聞の記者の方に、体育館で1年生全員に対して「記事の作り方」「取材の仕方」「写真の撮り方」などを講話していただいた。

### 〔生徒感想〕

分かりやすくて良かった。記事が起承転結を使って書くと言っていて、総合の新聞作りに使えそうだった。とても聞くのがうまくて、ぼくも話してみたかった。

新聞を作るときや取材をするときにも、いろんなことを考えているんだなと思った。貴重な話を聞けて良かった。この経験をトライやるウィークに生かせるようにしたい。

新聞記者はあまり好きではなかった。なぜなら、押しかけ取材、しつこい質問など、たくさんあるから。でも、今日の話聞いていたら、少しイメージが変わった。記者の方々は「記事を作らなければならないのだから」と誤解していたことが、少し恥ずかしい。また、記者の仕事の大変さに驚いた。読む人の気持ちになって書く。なお面白く、短時間でスピーディーに書くのは、とても大変そうだなと思った。有名人に会えるのは、うらやましかった。私なら、アイススケートの羽生結弦選手や、浅田真央選手に会いたい。

新聞を書くのは大変だろうなと思っていたが、話を聞くと、想像以上に大変そうだった。「大きな記事は、1カ月ほどもかけて書く」と言っていたことや、1日の新聞は1000人くらいで作っていることに驚いた。NIEは、見出しでこの記事の宿題にしようというも決めたりしているので、これもやはり考えられていたんだなと思った。

新聞記者の人は、たくさんの努力をして新聞を作っているんだなと思った。いつもあまり読まないし、読んでも何も思わずにいたが、裏ではたくさんの人が頑張っているんだと知った。これからは、そんなことも考えて読みたい。そして、もっと新聞を読んでみようと思った。



## 6. 授業研究会

「税」の学習で新聞活用

西宮市立平木中学校は3月6日、校内で「学び合」と「言葉の力」をテーマにした授業研究会を開いた。写真。同校では、生徒が5年前から「社会科NIE（ネット）」に取り組んでいる。導入当初は、社会科に興味・関心の低かった生徒も、新聞から好みの記事を切り抜いて貼っていくうち、視野が社会全体に広がり、学習意欲が高まってきたという。

今回の研究会では、渋谷本人の三大義務の一つである「納税」を取り上げた。最も身近な「消費税」が、4月から導入される直前だ。授業を工夫したい」と話した。

高く、さまざまな角度から報道されたニュースや解説記事を持ち寄り、頭をひねった。

生徒たちの間で意見が分かれたのは「消費税率」。北欧諸国の税率に比べると、来年に予定される「10%」でさえ低く感じる者もあり、「理想の税率」の難しさをあらためて感じているようになった。

渋谷教諭は「税に関する記事や資料を読み取って自分の意見を持たせ、意見を交わすことで、無味乾燥になりがちな学習に少しも意欲がわくように」と企画した。

西宮市立平木中学校は3月6日、校内で「学び合」と「言葉の力」をテーマにした授業研究会を開いた。写真。同校では、生徒が5年前から「社会科NIE（ネット）」に取り組んでいる。導入当初は、社会科に興味・関心の低かった生徒も、新聞から好みの記事を切り抜いて貼っていくうち、視野が社会全体に広がり、学習意欲が高まってきたという。

今回の研究会では、渋谷本人の三大義務の一つである「納税」を取り上げた。最も身近な「消費税」が、4月から導入される直前だ。授業を工夫したい」と話した。